

タイ・カセサート大学短期留学プログラム帰国後報告書

獣医学群・獣医学類 5年 井上あまね

Schedule for RGU Short-term Training at Faculty of Veterinary Medicine, Kasetsart University
August 10-21, 2026

	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
							Aug-08 ● Arriving at Suvarnabhumi TG671/ 15:30 ● Dinner at Shopping mall ● check-in (International dormitory KPS)
	Aug 9	Aug 10	Aug 11	Aug 12	Aug 13	Aug 14	Aug 15
AM	9:30-12:00 ● Orientation ● Faculty/ campus tour	Aquatic Medicine Dr.Theeraporn and staff 08.30 am.	Aquatic Medicine Dr.Theeraporn and staff 08.30 am.	free time (Public holiday in observance of National Mother's Day)	Kamphaeng Saen Veterinary Diagnostic Center	Kamphaeng Saen Veterinary Diagnostic Center	free time
PM	free						
	Aug 16	Aug 17	Aug 18	Aug 19	Aug 20	Aug 21	Aug 22
AM		Exotic /Wildlife/Raptor Rehab center	Exotic /Wildlife/Raptor Rehab center	Equine unit	Equine unit	Presentation, Closing Ceremony/Animal Hospital tour (Dr.Tawin)	Departure: Suvarnabhumi Airport VZ570 (20:00) 4 students TG670 (23:55) 2 students
PM	free time				check-out (15.00) /go to BKK and check-in (RECOFTC)	Free time	

2 週間のプログラムの詳細

1. aquatic medicine

この実習では、エビ・ティラピア・ワニのファームを訪問し、オーナーの方から飼育方法や水質管理についてお話を伺いました。ティラピアの雄化処理やファーム内での資源の有効活用が印象的でした。ワニのファームでは、幸運にもハッチングを体験する機会に恵まれ、タイならではの貴重な経験となりました。



ワニファーム



ハッチング体験

2. diagnostic center

豚インフルエンザを対象とした ELISA 検査・ベタの検体を用いた抗酸菌染色・エビのホワイトスポット病を対象とした q-PCR 検査を行いました。大学で学んだ検査手技を実際の検体を用いて経験することで、検査の手順や結果の見方についてより理解を深めることができ、実践的な学びにつながりました。

3. exotic animal unit

1 日目は動物病院の野生動物ユニットを訪問し、リクガメ、鳥、ハムスター、リスなど、日本では見る機会の少ない動物の診療を見学しました。特にカメの腹水抜去(写真1)やレントゲンは、初めて見たのでとても興味深かったです。

2 日目はゾウと猛禽類の診療を見学しました。跛行していたゾウに対して、機械を用いて脚の筋肉をほぐす処置を実際に体験しました(写真2)。多種多様な動物の診療を見学し、獣医学の幅広さを実感しました。



写真 1



写真 2

4. equine unit

1 日目は尿道突起に発生したハブロンマ症の馬の手術を見学しました。

2 日目はリンパ管炎の馬の診療を行いました。この症例では、安楽死の問題も関わっており、動物の苦痛や予後、QOL、飼い主の意向など、さまざまな要素を考慮する難しさを実感しました。

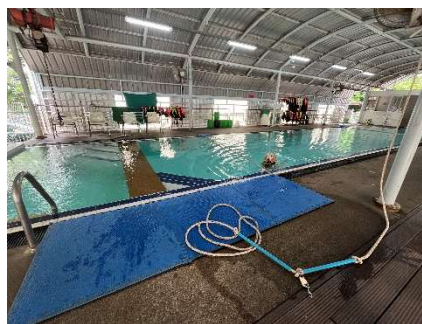


5. プレゼンテーション・病院ツアー

最終日はバンケンキャンパスでプレゼンテーションを行った後、動物病院を見学しました。病院はとて大きく、CT や MRI、放射線治療などの設備が充実していました。また、リハビリテーション施設も整っており、充実した医療環境に驚きました。



動物病院



リハビリ用のプール

6.放課後・休日

放課後には、ほとんど毎日友人たちとマーケットへ夕食を買いに行きました。毎日様々なタイ料理の中から夕食を選ぶことも楽しみの一つで、現地の食文化を身近に感じることができました。また、バンコクのレストランでもおいしいタイ料理をたくさん知ることができました。写真は載せきれませんが、下に一部紹介します。



ロティサイマイ



スिकासムージー

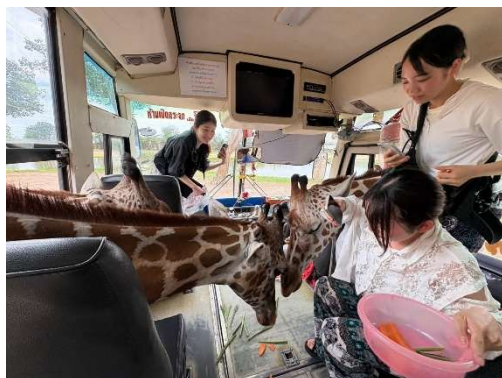


カオソーイ



プーパッポンカレー

休日はバンコク観光のほか、3時間ほど列車に乗りカンチャナブリのサファリパークを訪れました。サファリパークでは、バスツアーでキリンと間近で触れ合ったり、ゾウのショーを見たり、日本ではなかなか経験できない、海外ならではの貴重な体験をすることができました。



〈最後に〉

今回の留学には、海外の獣医学に触れることで自分の視野を広げること、そして英語でのコミュニケーションを通して語学力を向上させることを目的として参加しました。実際に、エキゾチックアニマルや水生動物、野生動物など、日本ではあまり学ぶ機会のない分野に触れることができ、獣医学の幅広さを改めて実感しました。また、タイの学生や先生方と交流する中で、英語でコミュニケーションを取る難しさを感じる一方、相手の話を理解し、自分の考えを伝える楽しさも知ることができました。今回の経験を通して、これからさらに英語の勉強に励み、国や文化の異なる様々な人と積極的に交流していきたいという気持ちが強くなりました。

また、今回の留学を通して強く印象に残ったのは、タイの方々の優しさです。困っているとすぐに声をかけて助けてくださる方が多く、その温かさを何度も感じました。私自身も、周囲の人が困っているときに自然に手を差し伸べられる人になりたいと思いました。

最後になりましたが、今回のプログラムを支えてくださった社会連携課の皆様、先生方、カセサート大学の先生方、学生の皆様、そして一緒に参加した皆さんに、心より感謝申し上げます。また、留学に快く送り出してくれた家族にも感謝しています。今回の留学で得た学びや出会いを大切に、これからの学業や将来の獣医師としての成長につなげていきたいと思っています。本当にありがとうございました。